

平成28年度  
南国安芸道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

# 高田遺跡

地元説明会資料



遺構を検出した様子

日時 地元説明会 2016年7月23日(土) 11時～12時  
場所 香南市野市町下井の高田遺跡発掘調査現場

高知県教育委員会  
(公財)高知県文化財団埋蔵文化財センター

### 1. 調査の目的

今回の発掘調査は国土交通省(四国地方整備局土佐国道事務所)が計画している南国安芸道路工事区間内に所在する高田遺跡について工事で影響を受ける部分を事前に発掘調査し、遺跡の内容を記録保存するとともに地域の歴史の復元に役立てようとするものです。

### 2. 調査対象地・調査面積

香南市野市町下井(約5,700㎡)

### 3. 調査期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日(予定)

### 4. 調査体制

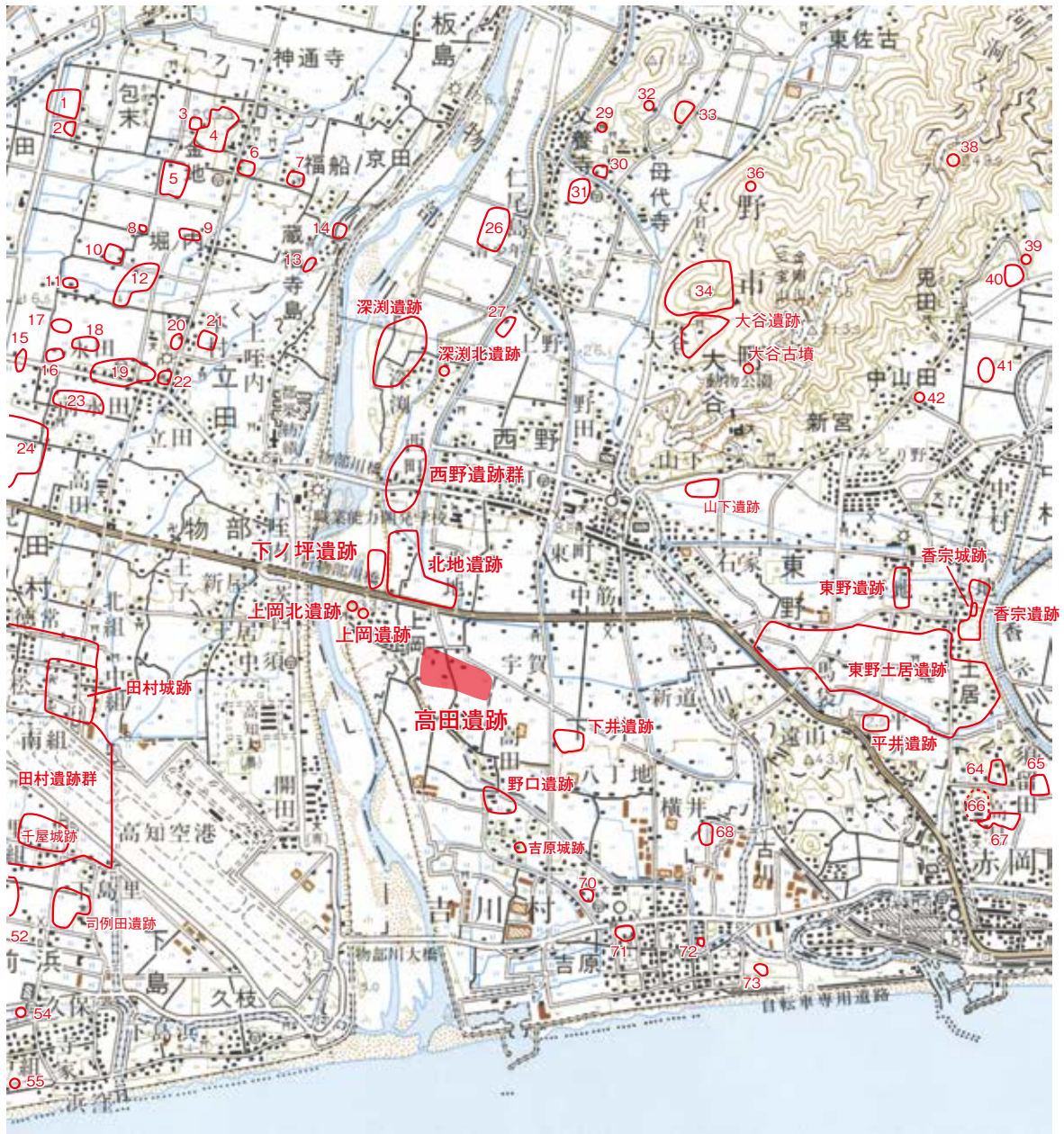
調査委託者	国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所
調査主体	高知県教育委員会
調査実施機関	公益財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター



■ H27年度調査範囲 ■ H28年度調査予定範囲

第1図 調査範囲図(S=1/5000)





高田遺跡

第2図 高田遺跡と周辺の遺跡図

## 5. 高田遺跡の概要と調査の成果

高田遺跡は物部川の河口近くの左岸に位置しています。昨年の発掘調査では、弥生時代と古代(奈良・平安時代)の遺構と遺物が多く出土しました。

### (1) 昨年の調査成果

弥生時代では、主な遺構として竪穴建物跡7軒と土器棺2基が確認されました。竪穴建物跡の中には長軸が7.6mを測る大型なものもあり、当時集落が営まれていたと理解されます。また、古代(奈良・平安時代)では掘立柱建物跡10棟の他、土坑や溝跡などが確認されました。さらに、特徴的な遺物として、円面硯(奈良時代)や緑釉・灰釉陶器(平安時代)などが出土しており、特に緑釉陶器のなかには、当時希少品であった猿投(愛知県)の製品が含まれており、大変注目されます。発見された建物群は一般集落ではなく、地域の役所あるいは有力者に関連したものであったと考えられます。

### (2) 今回の調査成果

遺構は、昨年に引き続き土器棺と掘立柱建物跡、土坑、ピット群を確認することができました。遺物は、土師器、須恵器、緑釉陶器など古代(奈良・平安時代)を中心としたものが出土しています。

土器棺は4基を確認しており、昨年確認された竪穴建物跡より少し離れた場所で見つかっています。昨年確認された土器棺2基は竪穴建物跡に近接した場所にあることから、階級差あるいは時期差が考えられます。今回竪穴建物跡は確認されていませんでしたが、調査区の南側と西側は段丘崖という地形から考えると、調査地は集落の南東部に該当するものと考えられます。また、掘立柱建物跡は2棟確認されています。遺構の時期などの詳細はこれからですが、昨年の調査結果から考えると古代(奈良・平安時代)を中心とする時期が考えられます



土器棺の検出した様子1



土器棺の検出した様子2



P16土器が出土した様子

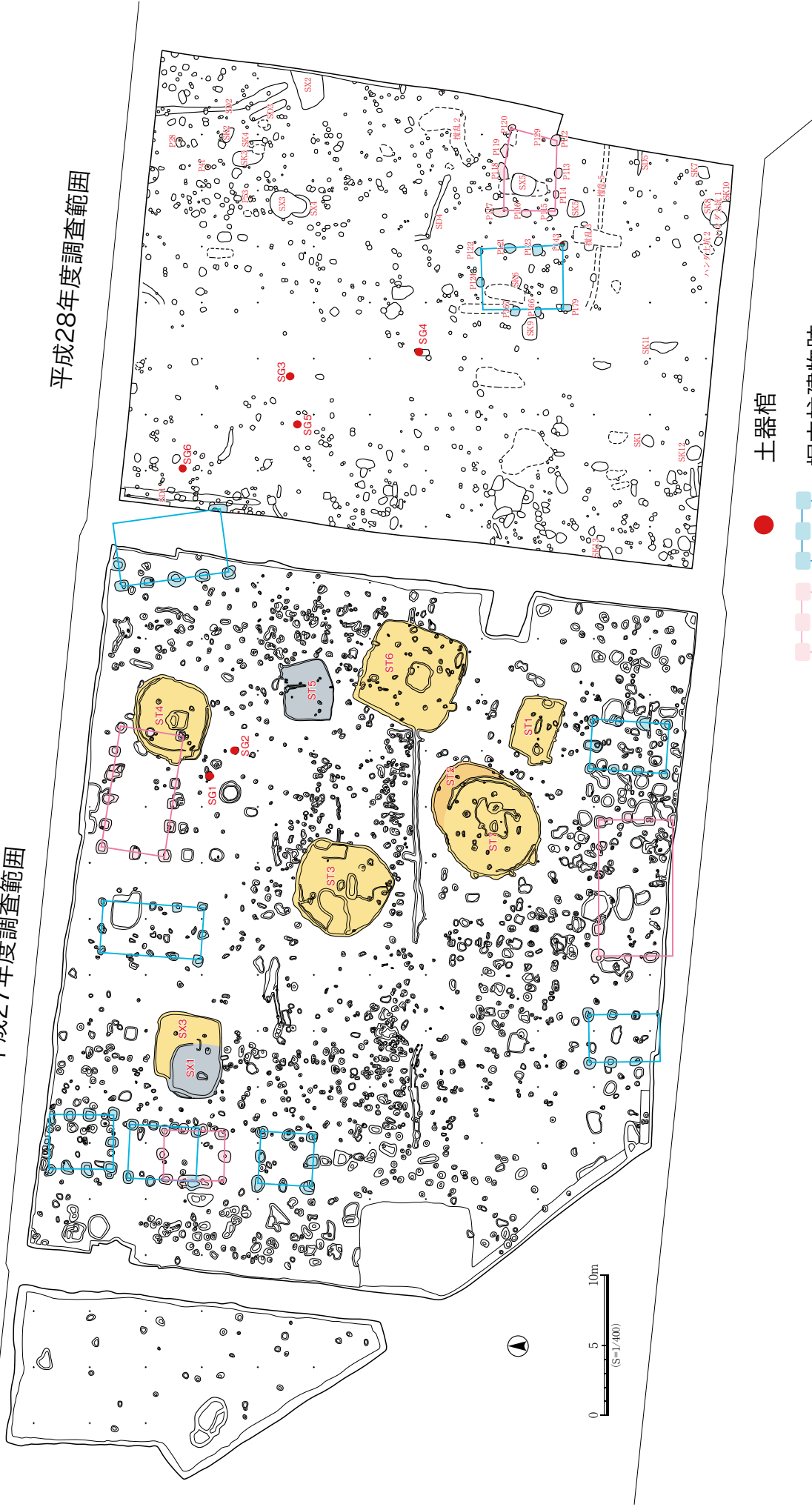


P15土器が出土した様子



平成27年度調査範囲

平成28年度調査範囲



土器棺

掘立柱建物跡

竪穴建物跡



第3図 遺構配置図 (S=1/400)

